

# 機器利用技術講習会のご案内

## 【先進機能性材料電気評価システム】

地方独立法人大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて、中小企業の皆様の新技术・新製品の開発や生産管理・品質管理をお手伝いさせて頂いております。これら試験研究機器の利用範囲や仕様・性能などの特徴を、より具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用頂くため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

◆日 時：平成26年10月28日（火）

①10:00～ ②13:20～

各コースの講習時間は約2時間です。

◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1）

当日は、講習開始時刻までに当研究所の玄関ホール講習会受付にて、受付をお済ませください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：各コース（①～②）とも1社のみ。参加人数は1社3名まで

※ 受講票は発行いたしません。返信で受付をお知らせします。

※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は、申し込み方法をご連絡いたします。

◆費 用：無料

◆申込み先：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課

※ お申し込みはメール ([fukyu@tri-osaka.jp](mailto:fukyu@tri-osaka.jp)) またはFAX (0725-51-2509) でお願います。

なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をご案内する「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：先進機能性材料電気評価システム（インピーダンスアナライザ）

測定試料に微小正弦波電圧信号を入力すると、出力信号の振幅と位相差から、試料のインピーダンス（電気回路または回路素子における、交流の流れにくさを表す量）を算出することができます。インピーダンス測定では、入力信号の周波数を低周波から高周波まで変化させることで得られるインピーダンスの周波数依存性から、試料の電気的性質（電荷移動抵抗、電荷移動度、誘電率など）を評価することができます。

インピーダンス測定は、センサやメモリ、電池をはじめとする電子デバイスの評価、品質管理に大きな力を発揮します。

例えば、センサや電池に利用される固体電解質の材料特性（イオン伝導度など）の評価や、リチウムイオン二次電池の構造解析や性能評価に利用することができます。

本講習会は、初めてインピーダンス測定に取り組もうとされる方を対象とし、インピーダンスの基礎、インピーダンスアナライザの基本原則をわかりやすく解説しながら、実際の測定を通じてインピーダンス測定の理解を深めていただきます。なお、実習は装置付属の標準試料を用いて測定を行います。（持ち込み試料の測定は行いません。）

本装置はOSTECの平成24年度「地域新産業創出基盤強化事業（近畿地域）」により導入した機器です。



インピーダンスアナライザ

◆ 講習担当：(地独)大阪府立産業技術総合研究所

繊維・高分子科 研究員 米川 穰、森 隆志 総括研究員 櫻井 芳昭

・お問い合わせ先：顧客サービス課（TEL：0725-51-2518）

